

SOSを出すこと・相談窓口 など

①SOSを出すことは大事な能力
大事なチカラ

- ◇学校の相談窓口
 - ・校長室・職員室・保健室
 - ・学校中の先生
 - ・スクールカウンセラー (宮田SC)
 - ・教育相談員 (黒沢相談員)
 - ・スクールソーシャルワーカー (小林SSW)
- *学校外の機関と適切につなげます。



②アンケート等で発信・把握

- ◇年に4回の生徒アンケート
- ◇佐久市の相談フォーム「TOUCH」
- ◇年に1回の体罰アンケート、学校評価アンケート (生徒・保護者)

③教室外での学びの場の選択

- ◇「いちがく」校内中間教室
 - ・教室での学びをオンラインで取り組む
 - ・自分なりの学びに取り組む など
- ◇学校外での学びの場
- ◇佐久市チャレンジ教室

*「浅間中学校 不登校・不適応対応について (お知らせ)」参照

学び方が変わってきた など

①探究的な学びへ

- ◇令和6年度
グランドデザイン (裏面)
- ◇学習オリエンテーション (4/8)



- ・日常授業の探究化
- ・総合的な学習の時間の探究化
- ・選択、決定、表現する学び
- *本年度の夏休みの家庭学習で実施
- ⇒2学期の家庭学習へ。必要性・選択性を大切にする。

◇浅間中学校区5校の取組

②探究デー・定期テスト前の学習相談日 (フリーラーニングデー) *年間行事予定表参照

- ◇探究デー(年4回。午後を探究する時間に)
- ◇学習相談日(定期テスト前。質問の時間、学びを選択する時間に)

③マイプロジェクト (1.2年希望者)・卒業探究 (3年全員) *生徒配付資料参照

- ・アウトプット、フィードバックの機会を大切にします。

④進路指導の充実

変わらずに大切にすること など



①学校教育目標「情操高く 知は深く」

- ◇すべての教育活動の目標
- ・「情操高く」とは。「知は深く」とは。

②靴ぞろえの意識

- ◇一瞬立ち止まることの意味
- ⇒日常生活にも。自分も、相手も気持ちよく。

③清掃活動の充実

- ◇10分間の清掃時間に。短時間集中
- ⇒10分 (1日) × 5日 (一週間) = 50分
- ◇静心の時間

④挨拶の充実

⑤協働的な学び

(学び合い・教え合い)

⑥ネットの問題は心の問題

- ◇家庭でのルール・指導 ◇学校での指導



開かれた浅間中学校 など

①ホームページにて学校の様子

- 生徒の様子を発信
- ・「今日の浅間中」や「学びの改革パイオニア校」はほぼ毎日更新



②各種校内方針・校内ルール

- ・いじめ防止基本方針 ・非違行為防止のための校内ルール ・部活動の方針 等

③学校評議員会 (コミュニティースクール運営委員会)

- ・年に4回実施
- ・学校の様子や運営について話し合う

④ランチミーティング・YouTube限定配信

⑤つぼみの会 (奇数月)・サブつぼみの会 (偶数月)

⑥重点「あたたかな関係性」の構築のために

- ・生徒と笑顔で接するために、教員の働き方改革の推進



本日、学級PTA終了後に校長室にて、カフェミーティングを行っています。よかったらご来室ください。

学校教育目標

情操高く 知は深く

目指す生徒像

郷土の山 浅間山のような

めざします!

めざしましょう!

誇り高き
浅間中学生

多様性を認め合い、思いやり、感謝の気持ち
が持てる生徒

熱く燃える
浅間中学生

学習・生徒会・部活動
に精一杯、全力で取り組める生徒

美しき
浅間中学生

行動にけじめがあり、挨拶が元気よく、清掃に打ち込める生徒

取り組みます!

取り組みましょう!

A 日常授業の探究化

【生徒が主役】

- ①「?」(問い)や「!」(気づき)のある授業
- ② 対話のある授業 教え合う授業
- ③「見方・考え方」を働かせ本質にせまる授業

B 総合的な学習の時間の探究化

【探究の学びのサイクル】

- ①3年間のつながり 地域とともに協働的な学び
- ②アウトプットとフィードバック
- ③発見・出会い 地域めぐり(1年) キャリア探究(2年) 卒業探究(3年)

C 選択、決定 表現する学び

【自己選択・自己判断】

- ①考える自主的な家庭学習
- ②基礎反復的な宿題
- ③思考判断表現を問うテスト
- ④生徒が参画する行事
- ⑤マイプロジェクト(1,2年)

D 生徒会・部活動

- ①【生徒会】 2K+1E 活気・快適・笑顔 「誰もが居心地のいい」 学校づくり
- ②【部活動】 AJCS 挨拶・時間・コミュニケーション・生活態度 日々の生活に活きる部活動 みんなが楽しくできる部活動

集団 学び 連携

【重点】 生徒が主人公

～豊かな個性はぐくむあたたかな関係性～

共生 多様 活気

E 安心した学校生活

- ①認め合う学級学年学校づくり
- ②特別支援教育の充実
- ③不登校対策の充実
- ④質問・相談できる環境づくり

F 進化・共有する学校

- ① HPなどの情報発信
- ② 管理から関係性重視の生徒指導
- ③ フリーに学ぶ水曜日の午後
- ④ 信頼されるいじめ対応・進路指導

G 教職員の働き方カイカク

～生徒と笑顔で接するために～

【学校】

- ①勤務時間の適切な管理
- ②オクレンジャーによる欠席連絡
- ③テスト返却日の設定
- ④総時数の適正化
- ⑤ガイドラインに沿った適正な部活動運営

【市教委】

- ①留守番電話対応
- ②部活動の地域移行化
- ③採点補助システムの試行 等

こんな様子です!

(各種アンケートから)

➤ 友と対話しながら学ぶよさを感じている。
(86.0%・学生)
(83.0%・学保)

➤ 学習した内容について、次の学習につなげることができている。
(77.2%・全)

➤ 生徒会活動、部活動などの活動に満足感をもっている。
(81.5%・学生)

● 先生に質問や相談をしにくいと感じている。
(27.0%・学生)
(22.0%・学保)

● 授業やテストで間違えたところ・理解していないところを分かるまで教えてくれない。
(19.0%・全)

□ 宿題(学校からだす課題)を必要だと感じている生徒
(51.2%・家)

□ 自主学習(自分の計画で進める家庭学習)を必要と感じている生徒
(91.2%・家)

「全」:全国学力・学習状況調査(3年生)の本校の回答率(令和5年4月実施)

「学」:学校アンケート(生徒・保護者)の回答率(令和5年11月実施 生:生徒の回答率 保:保護者の回答率)

「家」:家庭学習についてのアンケート(生徒)の回答率(令和5年12月)